

単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善（例）

【学 年】 小学校第3学年

【単元名】 A村のりんご農家の仕事（13時間扱い）

【育成する資質・能力】

〔知識及び技能〕	〔思考力，判断力，表現力等〕
A村のりんご農家の仕事について，見学や調査をしたり，さまざまな資料で調べたりして，りんご生産の仕事は，地域の人々の生活と密接なかかわりをもっておこなわれていることを理解する。	A村のりんごの栽培方法や特色，他地域との関わりなどに着目して，りんご農家の仕事に見られる工夫など仕事の様子を捉え，A村の人々の生活との関連を考察する。

【主な学習活動と留意点】

前単元からのつながり：「わたしたちのまち・みんなのまち」において，村探検をして様子を見て回り，公共施設や土地利用の様子などを調べ，白地図に書き込み，地域の特徴をまとめた。

働かせる見方・考え方：A村のりんごの栽培方法や特色に着目し，りんご農家の願いや工夫とのつながりを考えること。

段階	□学習問題（時間）	留意点
課題把握 （つかむ）	1 A村ではどんな作物が作られているのだろう。(1) 2 A村のりんごについて知っていることを出し合おう。(1)	気付きや疑問から「問い」を設定する場面 ・作付け図からりんご畑の多さに気付く。A村のりんごを買った人たちの声を上げる。
	単元を貫く問い：A村のりんごはどうしておいしいのだろう	
課題追究 （調べる・考える）	3 りんご農家の仕事について調べてみよう。(2) 4 本や資料を使って調べたことを発表しよう。(1)	予想から解決の見通しをもつ場面 ・りんご作りの本や資料を使って，りんご農家の仕事を調べ，りんごカレンダーにまとめる。
	5 調べて分からなかったことやもっと聞きたいことなど，Bくんのおばあちゃんにインタビューする内容を考えよう。(1)	予想や仮説の検証に向けて調べる場面1 ・総合的な学習の時間に取り組んでいるりんご作りの先生であるBくんの祖母に，一つ一つの作業の目的や願いについて聞いていくことで，仕事と願いのつながりに目を向ける。
	6 Bくんのおばあちゃんにりんご農家の仕事について聞いてみよう。(1)	予想や仮説の検証に向けて調べる場面2 ・A村独自のりんご栽培の工夫について，資料を使って話し合うことで，おいしいだけでなく安心なりんごを目指していることに気付く。
	7 A村のりんご農家の人たちは，おいしいりんごを作るためにどんな工夫をしているのだろう。(1)	
	8 収穫されたりんごは，どこへどのようにして運ばれていくのだろう。(1)	予想や仮説の検証に向けて調べる場面3 ・共撰所を見学し，説明を聞き，質問をする。 ・共撰所へりんごを買いに来ているお客さんにインタビューをする。
9 共撰所のりんごは，どのようにして，どこへ送られるのだろう。(2)	学習を振り返る場面 ・単元を貫く問いに対する答えをまとめる。 ・A村の特産品であるりんごの栽培には，A村独自の栽培の工夫があることを知ることで，地域との関わりを感じ，誇りをもつことができるようにする。	
10 共撰所で見てきたことや，聞いてきたことをまとめよう。(1)		
課題解決 （まとめる）	11 A村のりんごはどうしておいしいのか，わかったことをまとめよう。(1)	
	【ねらいを達成した子どもの姿】 A村のりんご農家の人たちは，りんごを喜んで食べてもらうために，おいしいだけではなく安心なりんご作りを目指して，A村だけのいろいろな栽培の工夫をしている。おいしいと評判のA村のりんごは，全国へ送られている。	

次単元へのつながり：地域の人々が受け継いできたお祭りを取り上げ，お祭りを保存し受け継いでいくための取組を調べ，地域の人々の願いや保存・継承するための工夫や努力を考える。